

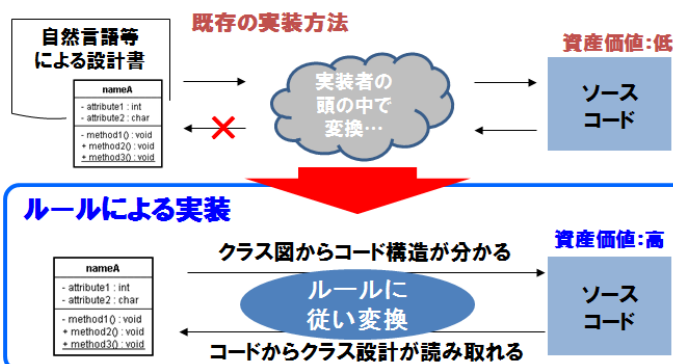
モデル活用 ワークショップ

既存コードを言い訳に、設計をサボってませんか？

モデルで考えることの良さを体験する。



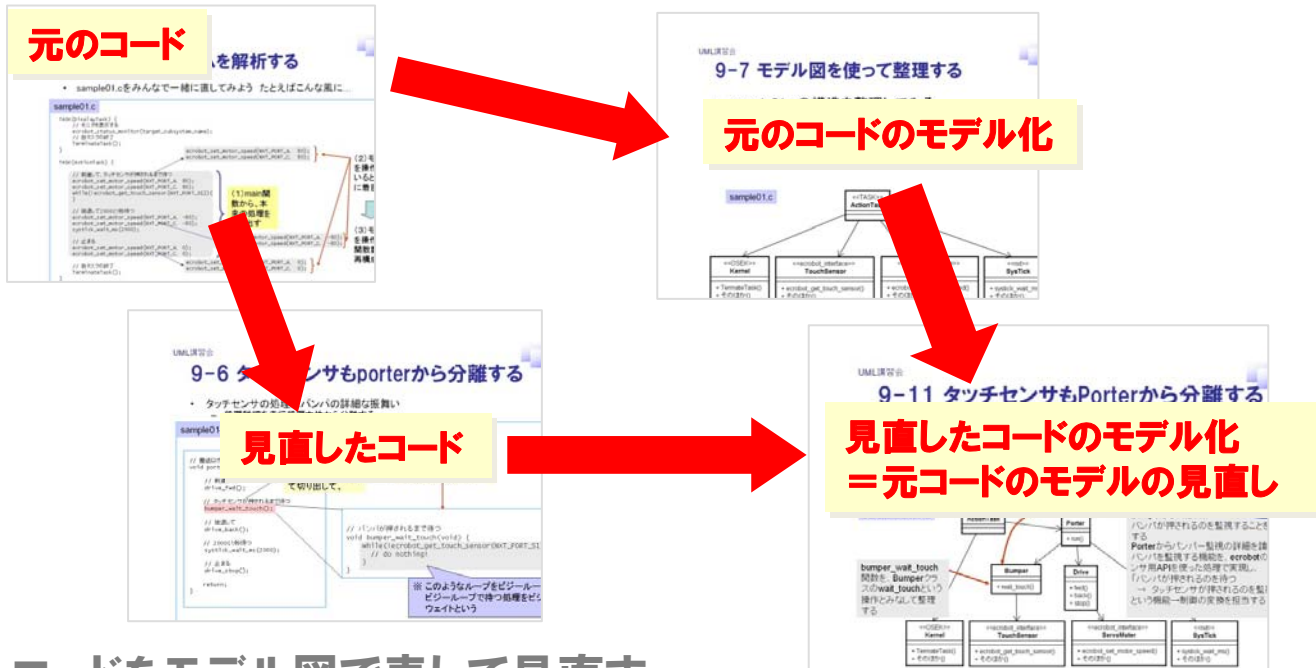
既存資産(ソースコード)とモデルを結びつける
技術を学び、保守性の高い資産管理に繋げる



特徴

- ①コードをモデル図で表して見直す
・段階的にコードの書き方を見直す
・そのコードのモデル図を描いて再考
- ②マインドストームを使い動かし確認

コード上での修正からモデル上での検討へ



コードをモデル図で表して見直す

◆段階的にコードの書き方を見直す ◆そのコードのモデル図を描いて再考する

名称	モデル活用ワークショップ — 設計の見える化によるソースコード改善 —	
日数	2日間(7時間×2日) 座学:20% 演習:80%	オンサイト研修
対象者	◆ソリューション系 テクニカルスペシャリスト レベル2以上 ITSS: アプリケーションスペシャリスト、ソフトウェア開発 ETSS: ソフトウェアエンジニア、ドメインスペシャリスト	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> UMLモデルを活用し、ソースコードの改善ができる。 UMLモデルの必要性を理解し、設計においてUMLモデルを活用できる。 	
研修内容	<p>◆1日目</p> <p>【1】開発環境とツールの把握 【2】分析と設計 【3】設計と実装 既存ソースコード解析。構造と責務の視点で整理、整理前と整理後に着目</p> <p>◆2日目</p> <p>【4】構造の見直しと演習 クラス図とソースコードを対応つける方法を学ぶ 【5】振舞いの見直しと演習 振舞いをアクティビティ図やシーケンスで表現 【6】総合演習 既存システムの振舞いをステートマシン図で表現 【7】演習システムの発表会、振り返り</p>	
教材 使用機材	◆オリジナルテキスト ◇PC(モデリング、) ◇教育用レゴ マインドストーム	
前提知識	・C言語に関する基本的なスキル ・C言語を使った一連のソフトウェア開発経験	

◆MDD (Model Driven. Development) 対応版や、Java言語対応版も提供しております。

開発・著作



株式会社アフレル 東京支社
<http://www.afrel.co.jp>
 〒103-0001 東京都中央区日本橋
 小伝馬町2-8 新小伝馬町ビル5F
 TEL: 03-6661-9251
 FAX: 03-3249-3741
 メール: info@afrel.co.jp

お問い合わせ先: